

指導部だより(あったかハート推進週間の取組)



【温かな心の育成】

附属小学校では、子供たちに温かな心を一層育むことを重点として取り組んでいます。7月は、以下の内容で行いました。

月	期 間	内 容
7月	7/7(月)～11(金)	学級活動(各学級での人権尊重をテーマにした集会)

【授業の様子や感想】

〈低学年〉

2年生は「ステキなところを見つけよう集会」を行いました。この集会では、「手つなぎオニ」を通して、友達のステキなところを見つけることを目当てにして取り組みました。活動後には、全体でステキなところを紹介し合いました。紹介された子供の顔は、自然と笑顔になりました。



〈感想〉

- ・ぼくが逃げていて、滑ったときに、「大丈夫?」と言ってくれたので、ぼくのことを大切にしてくれているのだと思いました。
- ・わたしがオニになった時、誰がオニなのか分かっていない人がいたので、少し待ってあげることにしました。逃げるとき、オニが誰か分かっていなくてすぐにタッチされたら、悲しくなってあったかハートにならないと思ったからです。

〈中学年〉

4年生の「あったかハート集会」では、友達と協力して取り組むことができるよう、企画係の子供たちがクイズやフラフープリレーを企画しました。フラフープリレーでは、どの順番で並ぶと、速くフラフープを次の人に渡すことができるかチームで考えました。



〈感想〉

- ・クイズのときにあったかハートが大きくなりました。理由は、私が悩んでいたときに、グループのみんなと一緒に考えてくれて、心が温かくなったからです。
- ・この集会で、あったかハートが大きくなったと思いました。理由は、フラフープリレーの時に、私が失敗しても、友達が「巻き返せばいいよ」と言ってくれたからです。

〈高学年〉

5年生の「あったかハート集会」では、フルーツバスケット等の活動を、「あったかハート」につながる活動にしようと工夫して行いました。フルーツバスケットでは、真ん中に立った人が、「一人一役の当番活動がんばった人」等、あったかハートな行動をみんなに尋ねて、当てはまる人は立って席を移動しました。活動の楽しさを味わうだけでなく、友達のあったかハートな行動に気付く機会にもなりました。



〈感想〉

- ・みんながどんなあったかハートな行動をしているのかを知ることができて良かったです。自分も「もっと温かい行動をしよう」と思いました。
- ・フルーツバスケットで、あったかハートな行動がお題になることで、自分が立てなかったときは、これからそのお題の行動をがんばろうという気持ちになりました。

どの学年も、「相手の気持ちを大切にすること」や「みんなが楽しめるようにすること」を考えて、活動に取り組む様子が見られました。今後も、子供たちに温かな心が育っていく様子をお伝えしていきます。